

# 日本小児科学会

小児科学会会長  
高橋孝雄

# 地域医療に求められる専門医制度の 在り方について

1. 専門医取得の義務づけに関する学会としての見解
2. 地域医療従事者や女性医師への配慮
3. 医師の地域偏在への配慮
4. 地域医療を支える市中病院への配慮

# 地域医療従事者や女性医師への配慮

妊娠、出産、育児、介護、留学、地域医療従事者、義務年限がある者等への具体的配慮について

「修了判定」

専門研修3年修了時あるいはその後、個々の専攻医の事情を勘案して行う（年齢制限なし）

「妊娠・出産、産前後に伴う研修期間の休止」、「疾病での休止」

研修休止が6か月までなら3年間で研修修了を認める

「短時間雇用形態での研修」

勤務形態は問わない

「研修施設の変更・研修の一時中断」

小児科領域研修委員会の承認を前提とするが、同委員会は専攻医の希望やライフステージに応じた研修が行えるよう柔軟に対応することとする

# 医師の地域偏在への配慮

## 地域医療を支える市中病院への配慮

回収資料① 参照

1. 5都府県の専攻医総数が過去5年の専攻医採用実績の平均値を超えないようにするため、少なくとも5都府県の募集定員は暫定制度のそれを上回らないこととし、新たに基幹病院を承認する場合には地区協議会で事前に審議、調整し、募集定員を調整
2. その他の道府県では、各自治体で複数の基幹病院が設置できることを目指し、研修施設群や道府県と現在調整中
3. 5都府県における翌年度の応募定数削減などにより経年的な平準化を図り、地域偏在改善に向け適切な対応をとる  
5都府県において過去5年間の実績を上回る応募者を得た場合には、地域協議会で採用者数について事前に審議、調整する。それでも実績を上回った場合には、地域貢献率の低いプログラムについて翌年度の応募定数を削減する

# 地域偏在に関するデータ(募集人員／採用実績)

北海道  
35(13)

都道府県別の専攻医募集数と採用数(2017 4.28現在)

## 2017年度専攻医採用結果

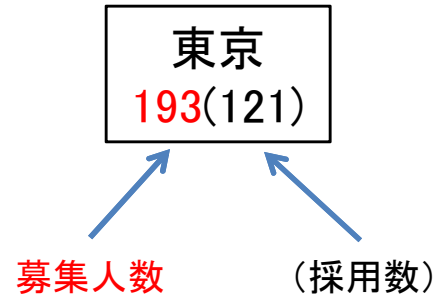
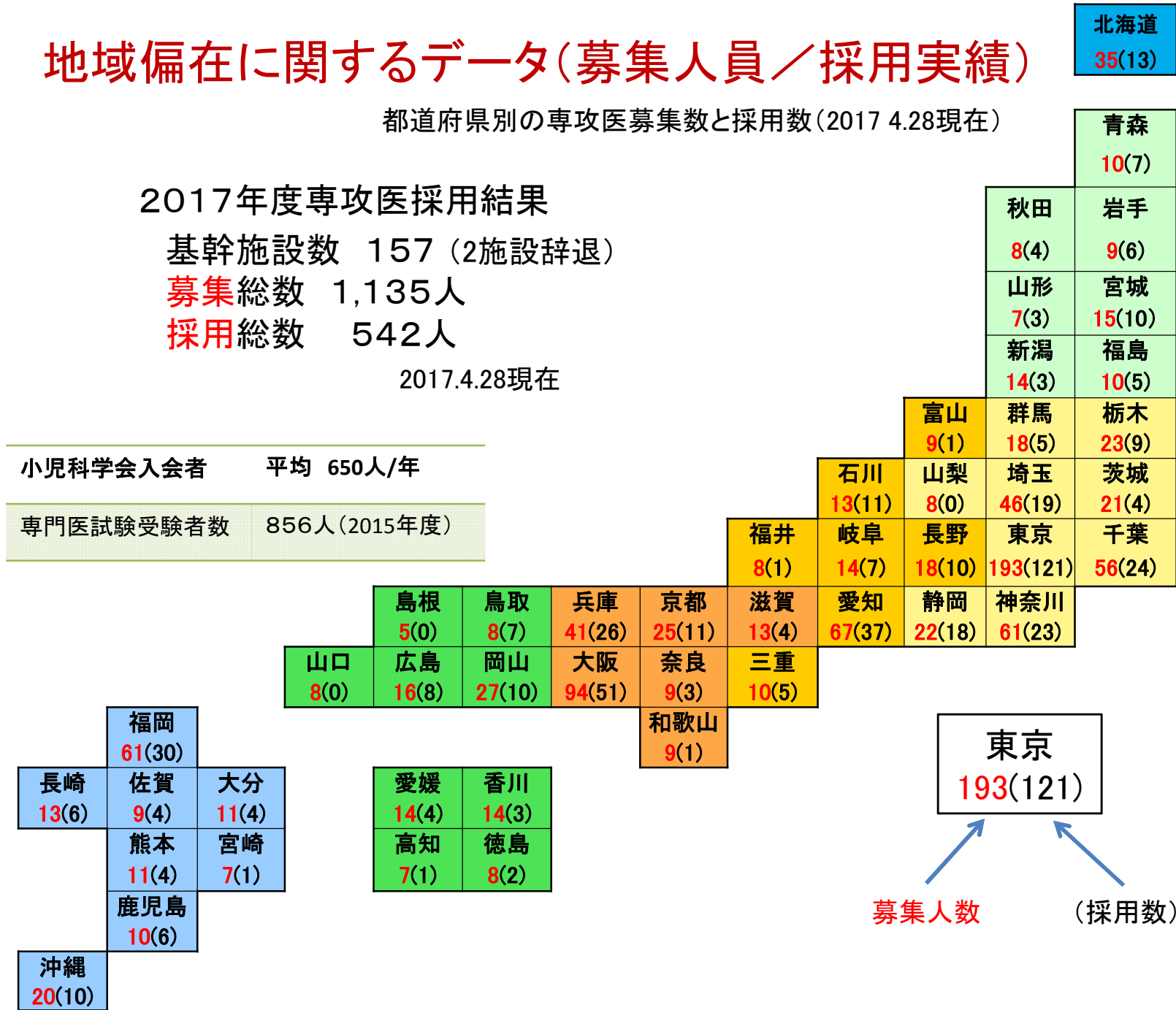
基幹施設数 157 (2施設辞退)

募集総数 1,135人

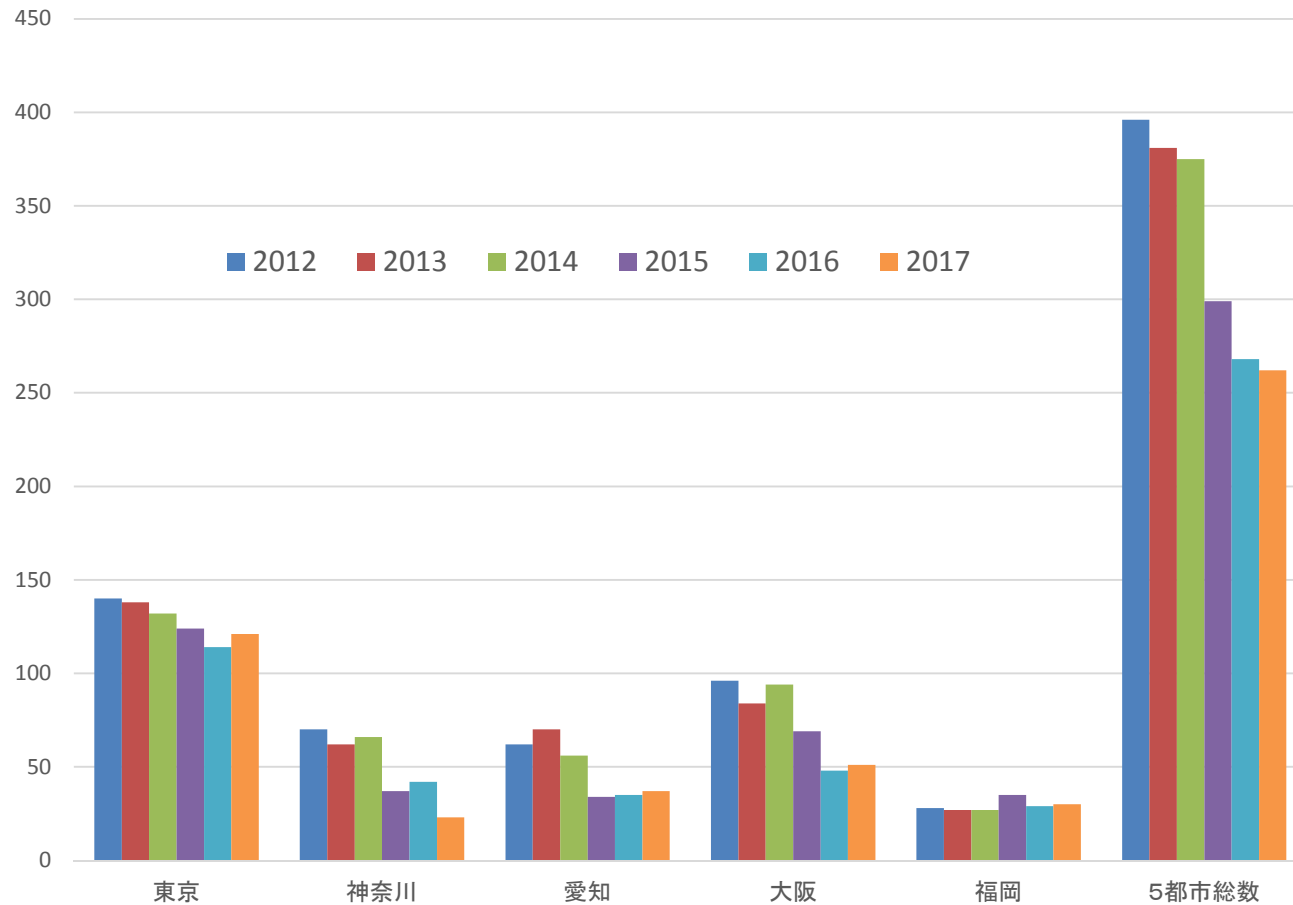
採用総数 542人

2017.4.28現在

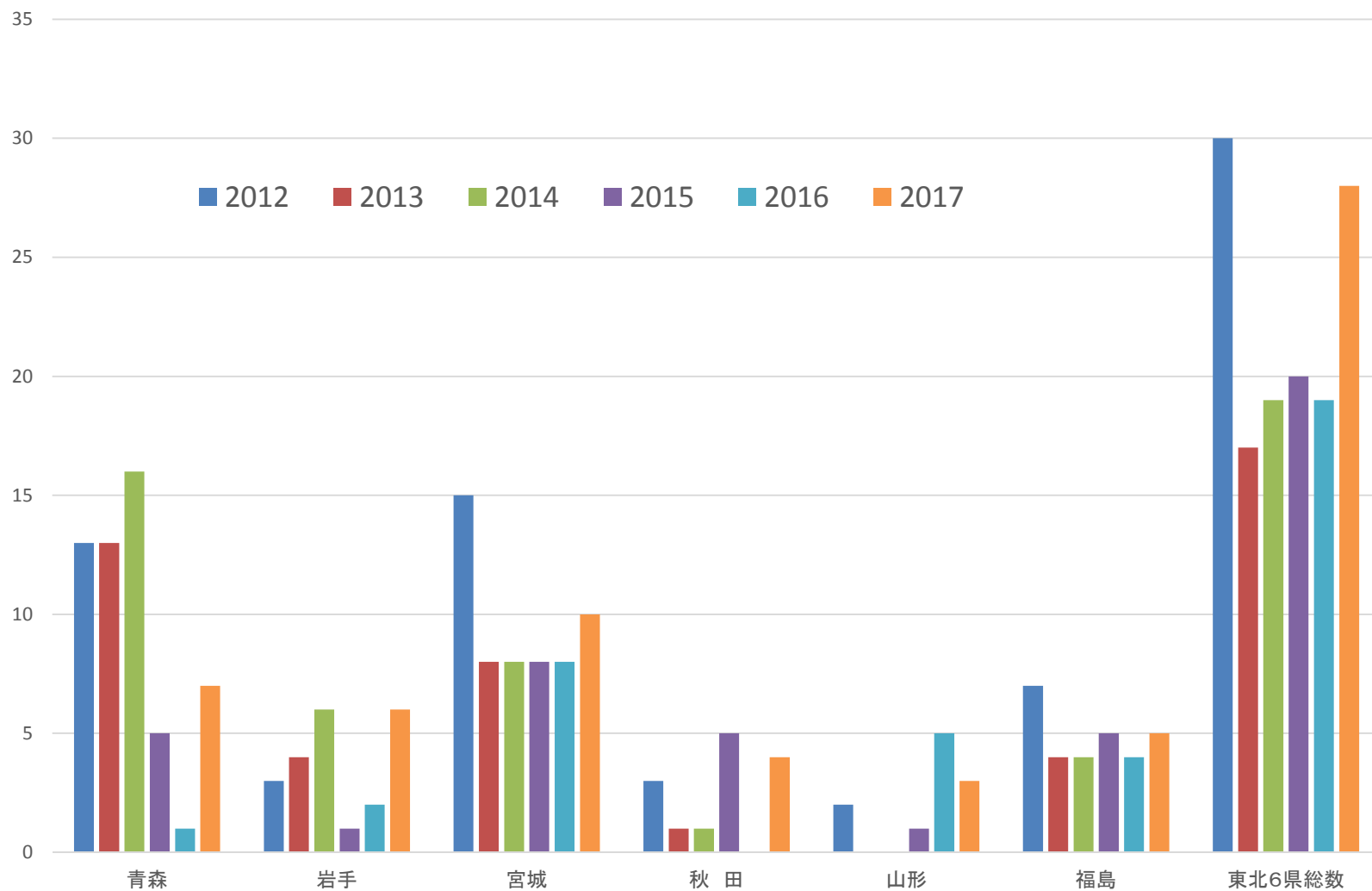
小児科学会入会者	平均 650人/年
専門医試験受験者数	856人(2015年度)



# 5都府県における過去5年間と今年度の採用実績



# 東北6県における過去5年間と今年度の採用実績



# 地域偏在に関する暫定制度の影響

## 5都府県とそれ以外の応募者数の比較

	2015-2016	2017	増減
5都府県	283.5	262	-21.5 (-7.6%)
5都府県以外	263.5	280	+16.5 (+6.3%)
計	547.0	542	-5.0 (-0.9%)

	2012-2016	2017	増減
5都府県	343.8	262	-81.8 (-23.8%)
5都府県以外	312.0	280	-32.0 (-10.2%)
計	655.8	542	-113.8 (-17.4%)



# 地域偏在に関するデータ(定員/プログラム数)

北海道  
35(5)

都道府県別の基幹施設(プログラム)数と専攻医募集数(2016 4 確認)

## 一次審査の結果

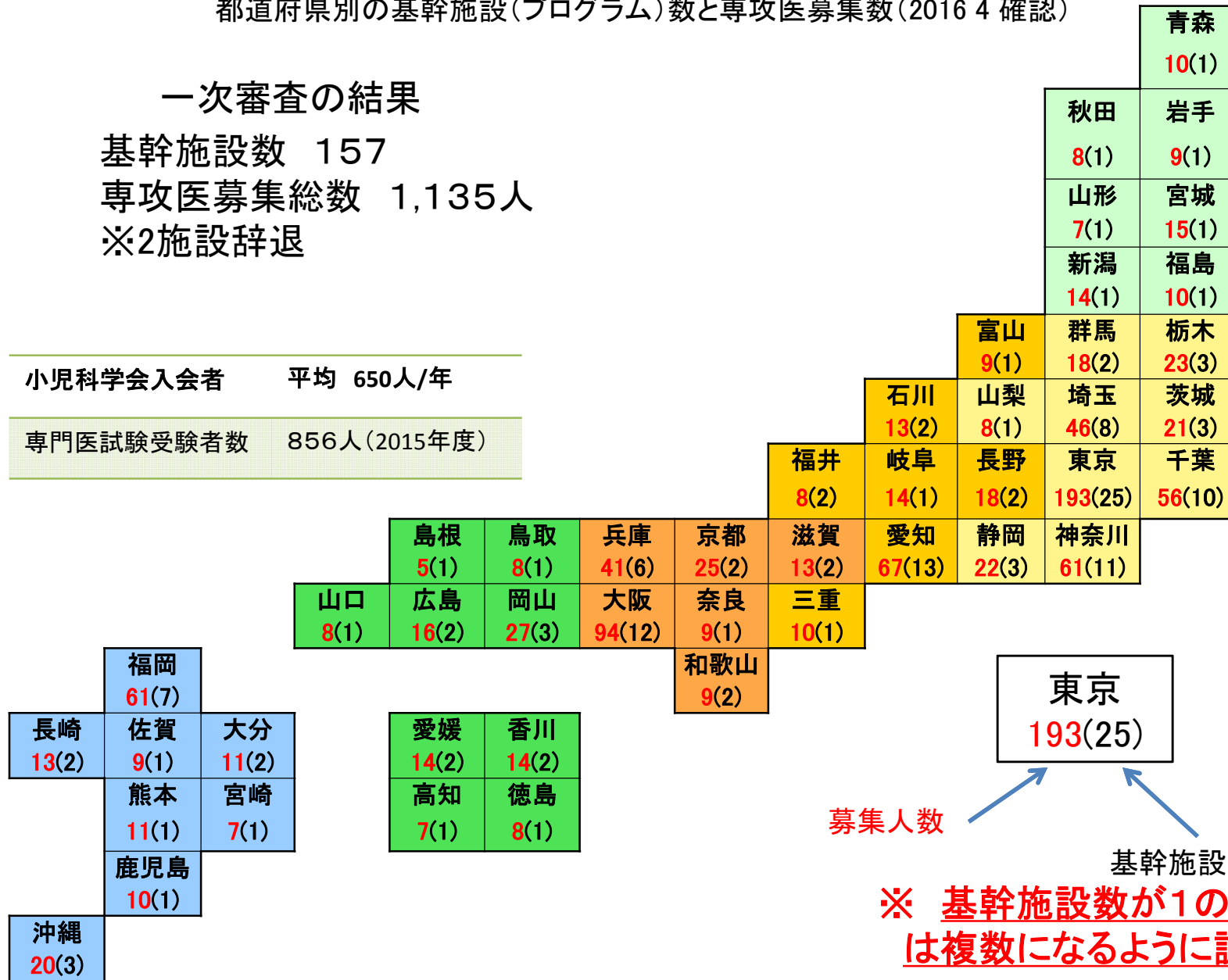
基幹施設数 157

専攻医募集総数 1,135人

※2施設辞退

小児科学会入会者 平均 650人/年

専門医試験受験者数 856人(2015年度)



募集人数

基幹施設数

※ 基幹施設数が1の都道府県  
は複数になるように調整中。<sup>9</sup>

# 地域医療を支える市中病院への配慮に関するデータ

地区	大学名	連携施設数	研修期間が 3か月未満 の連携施設数	募集定員	採用実績
青森県	弘前	13	0	10	7
岩手県	岩手医科大学	16	0	9	6
宮城県	東北大学	11	0	15	10
秋田県	秋田大学	11	0	8	4
山形県	山形大学	7	0	7	3
福島県	福島県立医科大学	9	0	10	5
新潟県	新潟大学	8	0	14	3

# 1県1基幹施設(=大学)の21県への調査

- 大学以外で基幹病院となり得る施設を具体的にあげること
- あらたな基幹施設を認定する際に配慮すべき点、想定される問題があれば具体的に記載すること

## 回答の概略

大学以外で基幹病院を認定する際に配慮すべき点・  
想定される問題

1. 基幹病院第1候補は県内の都市部のみをカバーしていないか(県内へき地の医療崩壊)
2. 指導医不足はないか(研修の質の担保)
3. 研修に必要な症例を確保できるか(多様性、患者数)